

気象界消息

1. IUGG 総会

アメリカ、カリフォルニア州 パークレーで IUGG 第13回総会が8月19日から開かれ、既報 和達、木沢、浅井、増田各氏のほかに、名大磯野謙治氏、北大孫野長治氏、気象研究所末広重二氏が参加した。

2. 曲田氏渡米

気象研究所予報研究部 曲田光夫氏は9月1日から10日、アメリカで開かれる「大気規模現象の力学に関する国際シンポジウム」に出席のため渡米する。

3. レーダー気象シンポジウム

9月6日、赤坂プリンスホテルで気象研究所今井一郎氏議長でレーダー気象シンポジウムが開かれた。これには多数日本研究者のほか、カナダからマーシャル (Marshall) 教授 (マックギル大学)、ヘイ (Hay) 博士 (西オンタリオ大学)、アメリカからアトラス (Atlas) 博士 (米空軍ケンブリッジレーダーセンター、ビグラー (Bigler) 氏 (アメリカ気象局) が参加した。

4. 伊藤氏渡米

気象庁電子計算室伊藤宏氏は「非地衡風教値予報」研究のため渡米する。

5. 渡辺和夫氏沖繩へ出張

9月11日から24日まで、気象研究所台風研究部渡辺和夫氏は沖繩へ、気象学講議のため出張した。

6. ネパールの山くずれ

はげしい季節風に伴う雨が8月初旬ネパールを襲い、山くずれが起り、死者200を出したとのこと。

7. 中国北東部の大雨

8月2日から10日までの間に400mmから700mmの大雨が中国北東部にふり続き、黄河に洪水の危機があるという。この地方の年間雨量は通常500mm程度である。

8. ボンベイの雨

8月11日、季節風に伴う大雨のためにボンベイの中央部にある60年たった古いビルが倒壊し、8人の死者をだした由。

9. 台風、ルソン島をおそう

台風10号は8月13日ルソン島に上陸し、バギオに猛威をふるった。

10. エトナ火山の噴火

エトナ火山 (イタリー) は北東頂部の火口から、8月

17日、急に噴煙をふきあげ、灰と砂が1000mにまで達したとのこと。

11. 焼岳の噴火

日本では8月19日に新潟県の焼岳が噴火した。7月10日から4回の目噴火である。

12. 九州の集中豪雨

8月16日から熊本県の山岳地帯に豪雨がふり続き、洪水の大被害をうけた。8月18日朝までの阿蘇山の雨量は545mmと報じられている。

13. オーストラリアに原因不明の怪爆発

人口の少ないオーストラリア北西部では8月19日夜、原因不明の怪爆発に驚かされた。目撃者の話では明るいオレンジの炎が煙の尾をひいて高空に見られ、爆発音が聞えたという。

14. 東京の大雷雨

8月25日午後、東京ははげしい雨と雷が数時間続き、8月の平均降水量の4分の3がこの間に降ってしまった。世田谷区ではたつまきが発生し洪水とともに死者2行方不明1の被害をもたらした。

15. 台風、大雨をふらして去る

台風11号は8月29日の早朝、関東南岸を駆けぬけ、大雨をふらせ、洪水、浸水の被害をもたらして去った。

16. オーストラリアの豪雨

8月29日はオーストラリアのシドニー周辺にも豪雨のあった日である。オーストラリア南東部に襲ってきた、豪雨と疾風はワロンゴング付近一帯に洪水をおこし、3人の死者をだしたとのこと。

17. 台風13号、フィリピンへ

台風13号は9月3日、フィリピンをおそった。

18. 台風14号、沖繩から台湾にぬける

台風14号は9月10日から11日にかけて、沖繩をおそって後台湾北部を駆けぬけ中国大陸へ上陸した。

19. 濃霧、南関東をおおう

9月11日朝、南関東一帯に濃霧が発生し、交通事故が発生した。

20. URSI 会議開かる

第14回国際電話科学連合 (URSI) 総会は28カ国代表が参加して、9月9日、高輪プリンスホテルで開会された。会期は12日間を予定されている。